

医啓会だより

冬号

発行元
医療法人社団医啓会
発行責任者
松本 正道
発行日
2021年12月1日
VOL.12

いよいよ師走到来!! 今年もあとわずか、体調はいかがでしょう。
これからが寒さ本番…感染症の流行も本番…要注意の季節です。
健康管理に留意し心身ともに健康で明るいお正月を迎えましょう。



ご不安な方は
お早めに
ご相談ください



寒い季節に特にご注意ください



ヒートショック

脳卒中・心筋梗塞の原因に



温かい風呂から出た時や寒いトイレに入った時など、急に体が冷えた時に血管が収縮し血圧が急上昇します。

転倒・転落

骨折・脱臼などの原因に



暖房の不十分な部屋や寒い屋外に出た時は体全体が硬くなり、つまずいたり滑って転倒することがあります。

やけど

熱傷・低温熱傷の原因に



熱い料理や飲物など高温によるやけどとアンカなどの低温暖房機の長時間使用によるやけどがあります。

機能障害・運動障害・要支援・要介護・寝たきり・死亡など

水疱・皮膚剥離・壊死など

供えあれば憂いなし

- 浴室・脱衣室・トイレなどを暖房器具で温めて、部屋間の温度差を少なくしましょう。
- 外出する時はしっかりと衣服を着用し、激しい寒さを感じないようにしましょう。

頭や胸が痛い、ふらふらする吐き気がする、話がしにくいそんな時はすぐに受診を!!

注意の上に注意を

- 室内では、敷物や暖房機のコードや階段などにつまづかないようにしましょう。
- 屋外では、階段や凸凹道や雨や雪の降っている時の歩行に気をつけましょう。

高齢者はちょっとした転倒でも骨折につながります。痛い場合はすぐに検査を!!

軽く考えるのは禁物

- 高温やけどは、熱湯やストーブなどの熱い物に触れることが原因のやけどです。
- 低温やけどは、体温より少し高めの温度に長時間触れることによりおこるやけどです。

皮下組織に損傷がある場合は重症化することがあります。水や氷で冷やして受診を!!

年末・年始 休診期間のお知らせ

松本クリニックは

12/29 (水) 午後 ~ 新年 1/4 (火) まで

12月29日(水)は午前診のみとなります

松本ホームメディカルクリニックは

12/30 (木) ~ 新年 1/4 (火) まで

12月29(水)は平常通り診療いたします

※ 12月29日(水)は混雑が予想されますのでお早めにご予約下さい。
※ 新年は1月5日(水)から平常通り診察いたします。
※ 期間中ご不便をおかけいたしますが何卒ご了承くださいませ。





町医者をつぶやき

NO. 8



問題ないと思っても月に2回、無理ならせめて1回は診察を受けていただきたいというのが私の切なる願いです。

医療法人社団医啓会理事長 松本クリニック院長 松本 正道

数年前よりできる限り長期の処方希望されることが多くなってきました。多忙あるいは面倒であるという理由で受診の回数をできるだけ少なくしたいということが主な理由と想いますが、本当に受診回数が少ないことは患者さんにとってメリットでしょうか。

例えば60日処方、90日処方の長期処方がされているのを再三見かけます。その間診察を受ける機会がないため、自覚がなくご本人も気づかない大きな病気であっても発見されません。医者の方も長期間診察しないため手遅れになったということになれば悔やんでも悔やみきれない気持ちになります。



お薬をたくさんもらえば
診察回数は減るけれど…
本当にそれで安心ですか？

以前は7日処方が普通でした。さすがにすぐ薬がなくなり受診が頻回となり大変でした。その後14日処方となり、次に数種の薬剤を除いて処方制限がなく長期処方が行われることとなりました。高齢の女性で、日頃より診察を受けるのが面倒く

さいと言ってほとんど診察を受けておりませんでした。ある時物療を受けているところを見かけたので、期待はしませんでした。「久しぶりに診察をしましょう」と声をかけたところ「時にはみてもらおうか」と診察を受けられました。診察をしたところ左の背中に腫瘍が触知され、超音波検査により腎臓がんが診断。手術治療を受け、その後5年以上転移は見られておりません。

中年の男性、やはり診察を受けるのを面倒くさがり長い間診察をうけておられませんでした。「たまに診察を受けてください。喫煙をしているのなら肺がんもあるからね」「今日は時間があるから受けます」このようなやりとりで診察を受けられ、ほんとに胸部レントゲン検査で進行した肺がんが見つかり大学病院へ紹介となりました。今まで全く自覚症状はありませんでした。

受診回数が多ければ多いほど病気が早期に発見される確率は多くなります。進行した病気は一度の診察でも診断可能ですが、早期の病変は複数回の診察でかろうじて診断でき、遅れていたら大変な状況になったであろうと思われる病気が完全に治療ができたということが再三あります。

診察時にご本人も大したことが無いと思うものの少し気になるという症状を訴えられることがあり、それががんの重要なサインで、早期に治療ができたということがあります。この場合も受診しなかったら病気が進行し、異常が自覚されてからの治療となり治療に難渋したでしょう。



早期発見が重要



問題ないと思っても月に2回無理ならせめて1回は診察を受けていただきたいというのが私の切なる願いです。

全国の22人の医師の一人として松本医師が掲載されました

2021年8月31日発行の新刊書

「医療哲学」

をご紹介します

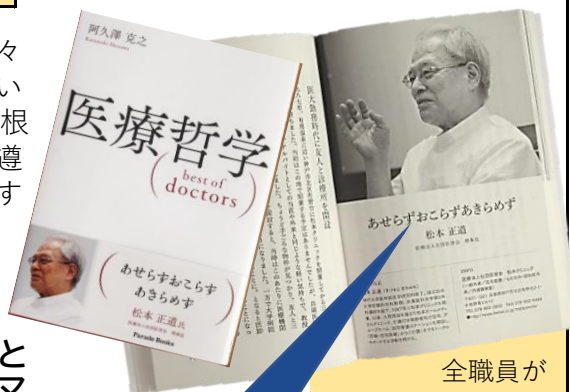
本書に登場する22名の医師は、最新の医療技術や進化する医療の知識を取り入れて実践している医師です。様々な経験から成るその医療哲学は必ずや医療関係者や患者の皆さんなどすべての人々にとって、現代を生き抜くヒントとなるでしょう。

—著者 安久澤克之氏のはじめにより抜粋—

この新刊書には、コロナをはじめ様々な課題が山積し続ける医療業界において、2500年以上の昔から医療倫理の根幹をなす「ヒポクラテスの誓い」を遵守しながら、最新の医療技術や進化する医療知識を取り入れつつ、日夜医療活動に取り組み続ける22人の医師が紹介されています。

松本医師は医療を志したきっかけと自らの医療哲学をこのようなテーマで分かりやすくまとめています

- ・ 医大時代に友人と診療所を開設
- ・ 患者さん目線で医療と介護を一体提供
- ・ 病気だけではなく病人を治す
- ・ 理想の医師は自分で探すしかない



あせらず
おこらず
あきらめず

全職員が一丸となり、患者さんの話をよく聞き、患者さんの目線に立って、患者さんを好きになることが大前提です

医療・福祉の充実を目指して



- ・ 事務長候補者
- ・ 看護師 (外来・病棟)
- ・ 看護助手 (資格不要)
- ・ リハビリ補助 (資格不要)
- ・ グループホーム管理者
- ・ 施設介護職員
- ・ デイサービス送迎運転手

受付カウンターにてお気軽にお尋ねください。
また、医療法人社団医啓会ホームページでも詳しく掲載しています。